

最後になりますが、本年も、私個人も会社も併せて、しっかりと地域貢献活動を行い、微力ではありますが、鳥取のために

## フィリピンと私

明けましておめでとうございます。

大学を卒業後、データ入力業界に身を置いていましたが、当時のデータ入力という国内での作業のみ。その後の情報処理手段の発達で、2000年頃にはデータ入力業界も中国への進出が盛んになっていました。和歌山に本社を置く小さな会社を経営していた私は、なぜか中国進出には興味をもっていました。進出するならば中国以外、英語を公用語もしくはそれに準ずる存在としている国、親日的考えを多くの人を持つてくれる国と考えていました。その頃たまたま友人からフィリピンの話を聞き現地へ行くことに決めました。その国の空気に触れて確かめてみようと思ったのです。

「ここだ」と感じました。私の考えていた条件と全て合致する国、しかも女性が働きやすい陽気な国民性も魅力でした。初めてフィリピンの地を踏んだのはその二週間後。オフィスの選定、要員の募集、慣れない土地で孤軍奮闘です。高級ホテルは望めるはずもなく、繁華街の一角にある小さなホテルに泊まりました。オフィ



役に立ちたいと考えています。本年もどうぞよろしくお願ひします。



シティコンピューター株式会社 代表取締役

川原 純行

スが内装工事のため、そのホテルで面接をしたのですが、後に採用した女性たちから冗談まじりに「これからどこへ連れて行かれるのか、無事に帰れるだろうかと不安だった」と聞き、皆で大笑いしたものです。

なんとか採用者も決定し、研修が始まりました。CCKグループで基準としていたのが「10分以内に3100タッチ」。決して不可能ではありませんが厳しい数字です。当時、彼女たちは研修についていけずあきらめムードが漂いはじめていました。

三本指での入力を教えたり、「練習すれば必ずできる」と説得したりしましたが、なかなか受け入れてもらえませんでした。初めて行うデータ入力というものに對し、イメージが湧かなかったのだと思います。そこで、日本のオフィスからスタッフを呼び実際の入力を見せました。すると自然と拍手がわいたのです。速さと正確な日本の技術に感動してくれたのだと思います。それから、弱音をはかず練習に取り組んでくれました。今や彼女たちは会社の中心となっています。

数年前の水害時、日本の社員達も救援物資を調達しフィリピンに運びました。その後船便でも送りました。そのためではないですが、

急な仕事が入り困った時、休暇で帰省していた社員たちが何人もマニラに戻り出社してくれました。言葉や国は違っても心は通じ合っている社員達を誇りに思っています。今回の台風災害でも、鳥取はじめ日本の各支社で物資を集め、募金もしました。こういうことを当然の行為としてできる社員達がいることは喜ばしいかぎりです。また、そのように考えることのできる機会と環境を与えてくれたフィリピンの会社と社員達にも感謝しています。

20名余からスタートしたフィリピンのデータエントリー部門も全社で400名となり、24時間体制で各国からのオーダーに応えています。近年は英語を使ったビジネスも展開し、拡張を続けています。

2011年に設けたバン格拉デシユの拠点をはじめ、今後はアフリカにも拠点を構え、万全の体制を整えることを念頭においております。

今年も午年です。鳥取の皆様と空翔る馬のように世界に羽ばたきたいと願っております。

鳥取支社をはじめ、CCKグループをよろしくお願ひ申し上げます。そして、本年も皆様にとつてよい年でありませう心より願っております。

**オパール**

高齢者専用ケア付マンション  
訪問介護デイサービス

---

介護サービス専門  
とっとり福祉サービス(有)  
とっとり福祉マンション(有)

鳥取市行徳3丁目317 ☎0857-39-1060